

令和7年

火災・救急・救助・通信の概況

上越地域消防局

# 目次

## 火災編

1 火災発生状況.....	1
2 火災の特徴.....	2
3 出火原因.....	4
4 火災による死傷者.....	5
5 損害額の推移.....	5
6 焼損面積の推移.....	6
7 住宅火災の状況.....	6
8 住宅用火災警報器.....	7
9 火災状況比較.....	9
10 管内地域別署所別火災状況比較.....	10

## 救急編

1 救急出場状況.....	11
2 救急搬送人員.....	13
3 救急活動平均所要時間.....	14
4 応急手当実施状況.....	15

## 救助編

1 救助出場状況.....	17
2 地域別救助出場状況.....	18

## 通信編

1 119番受付状況.....	19
2 口頭指導実施状況.....	20
3 外国語通訳状況.....	20
4 映像通報119接続状況.....	21

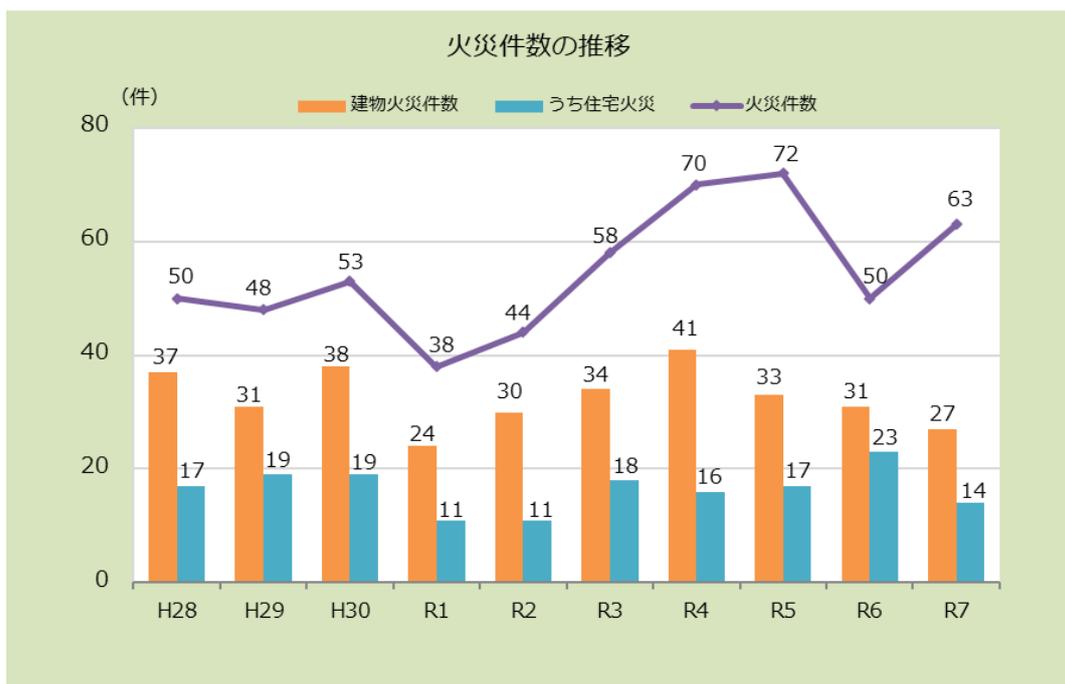
# 火災編

## 1 火災発生状況

### ■ 火災件数は63件

令和7年の火災件数は63件で、前年比で13件増加しました。建物火災は4件減少し、住宅火災は9件減少しました。また、車両火災が2件、その他の火災が15件それぞれ増加しました。

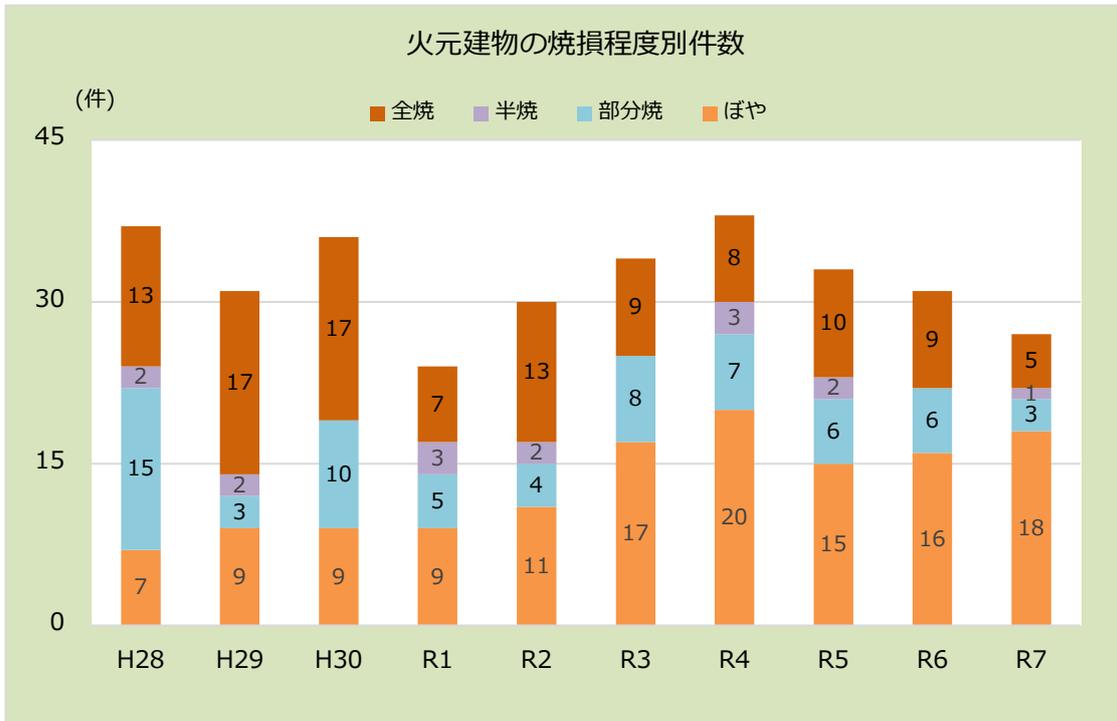
火災発生状況					
	令和6年	割合	令和7年	割合	増減
火災件数	50	100.0%	63	100.0%	13
建物火災	31	62.0%	27	42.9%	▲4
住宅火災	23	74.2%	14	51.9%	▲9
林野火災	1	2.0%	1	1.6%	0
車両火災	4	8.0%	6	9.5%	2
その他の火災	14	28.0%	29	46.0%	15



## 2 火災の特徴

### ■ 火元建物の焼損程度別件数

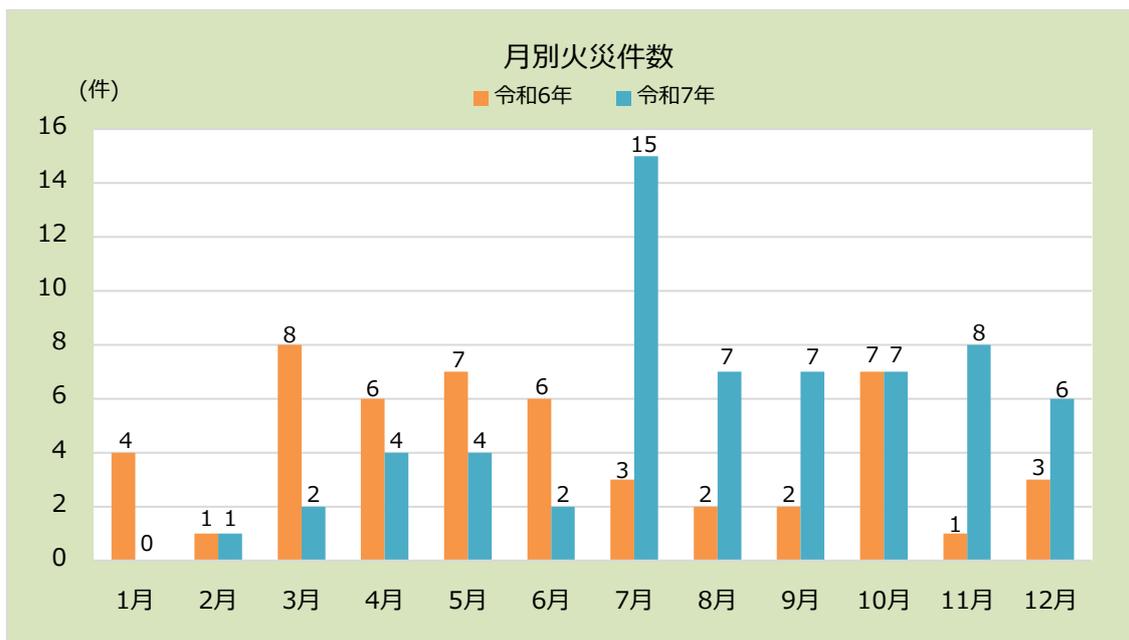
火元建物の焼損程度別件数は「ぼや」が18件と最も多く、次いで「全焼」が5件でした。



※ 爆発等に該当する火災や火元が建物以外の建物火災を除く

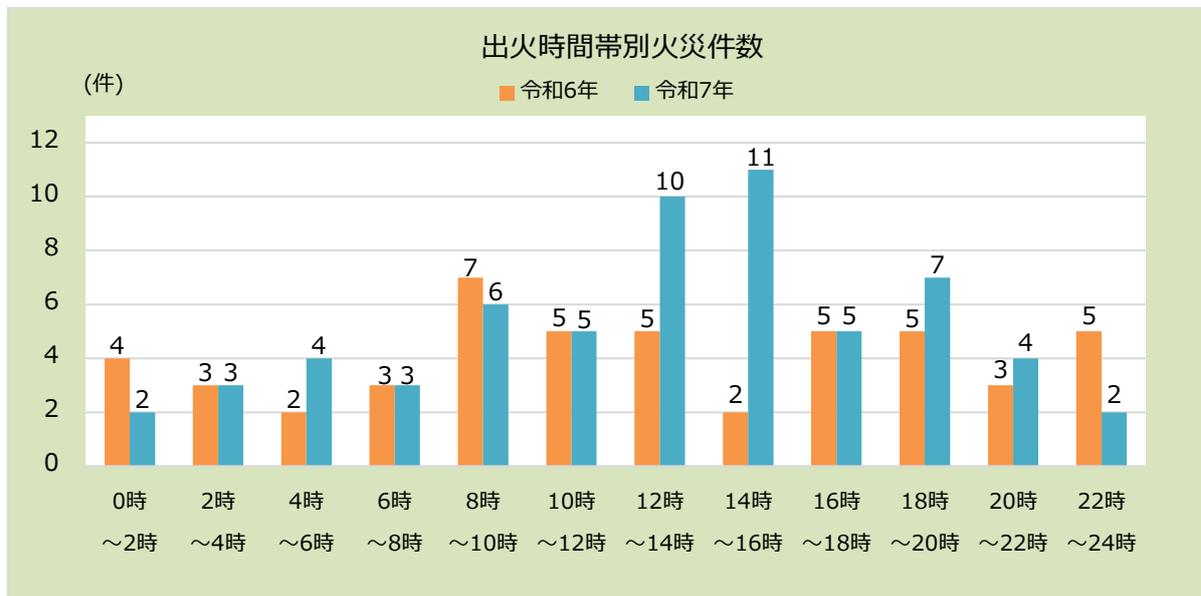
### ■ 月別火災発生状況

7月が最も多く15件の火災が発生しました。



## ■ 時間帯別火災発生状況

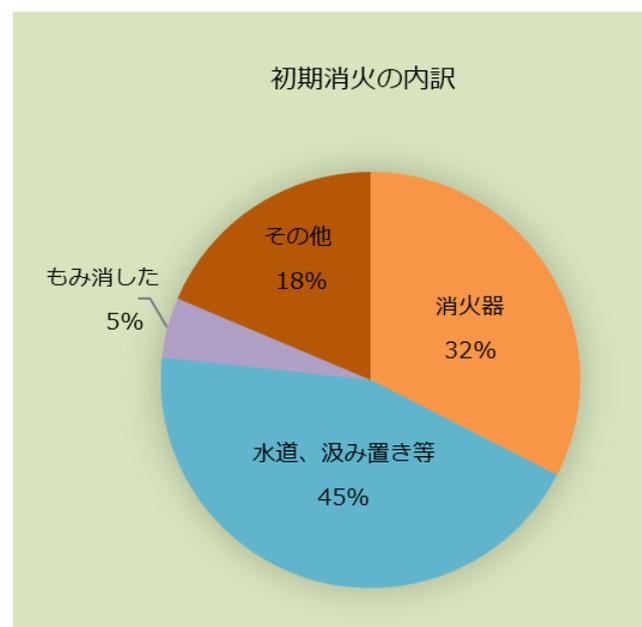
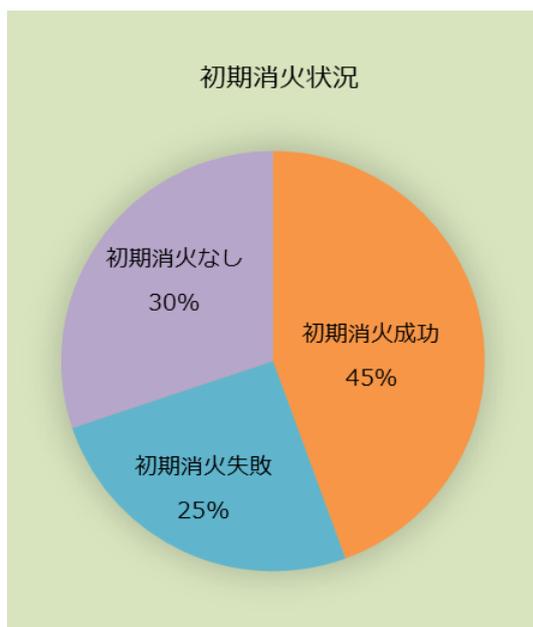
最も火災の多い時間帯は午後2時から午後4時までの間でした。



※ 1件は出火時間不明のため、グラフには含んでいない

## ■ 初期消火状況

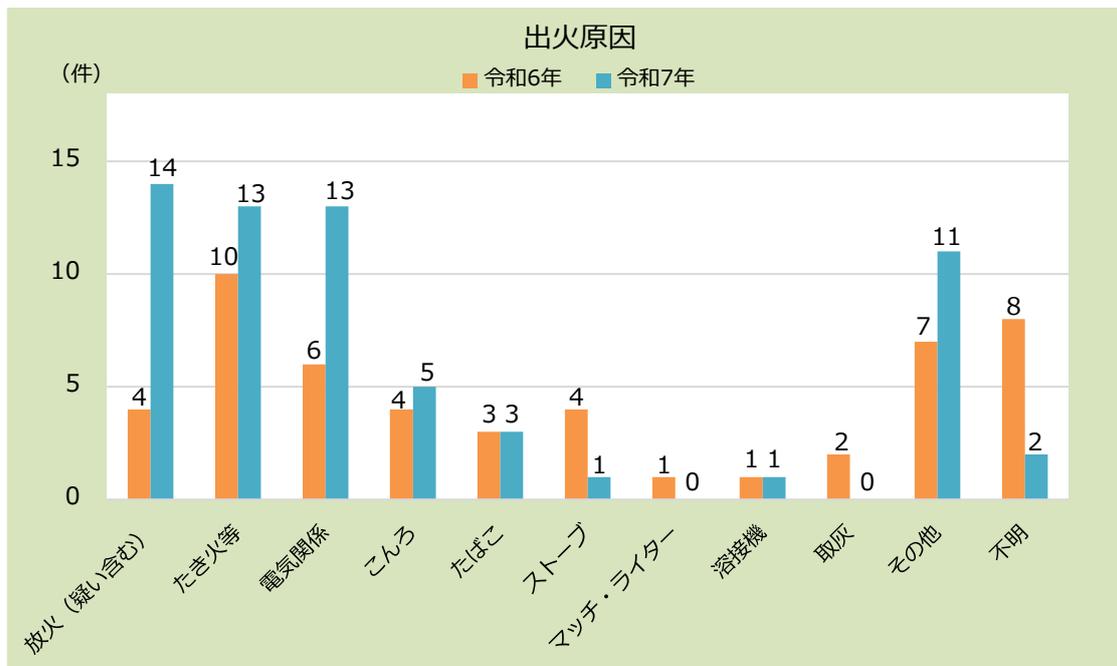
約7割の火災で初期消火が行われており、最も多かったのが水道水、汲み置き等によるものでした。



### 3 出火原因

#### ■ 出火原因は「放火（疑い含む）」が1位

出火原因は「放火（疑い含む）」が14件と最も多く、次いで「たき火等」、「電気関係」が13件、「こんろ」が5件でした。



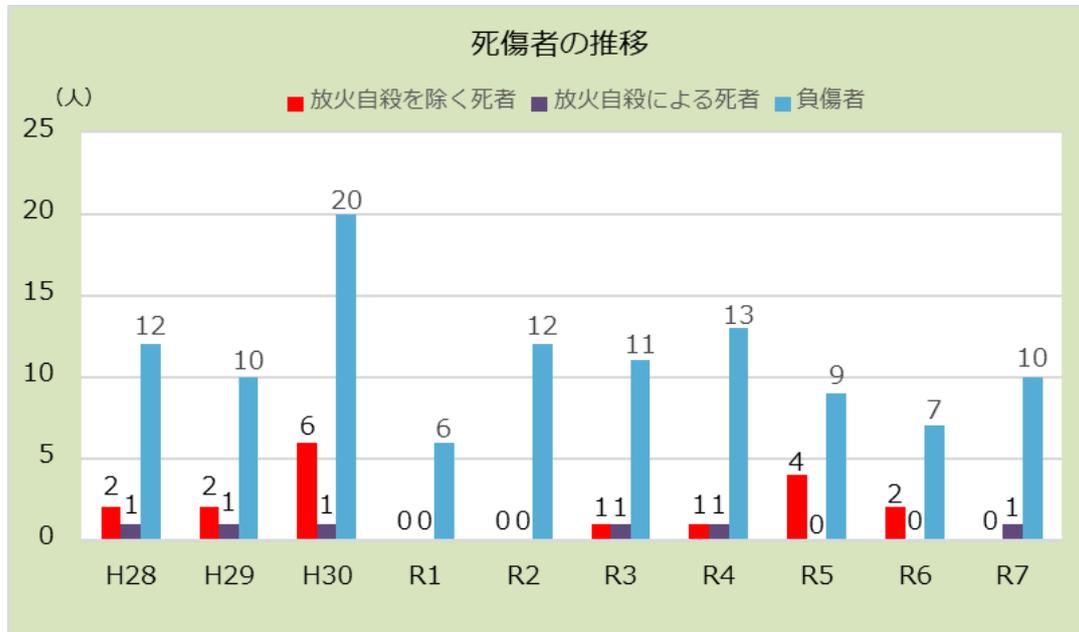
#### ■ 出火原因の詳細

		(件)
■ たき火等	たき火(ゴミ焼却等の拡大・飛び火)	12
	火入れ(枯草焼きの拡大)	1
■ 電気関係	電気機器(扇風機、充電式電池、電気フライヤー等)	8
	電気配線	5
■ こんろ	ガスこんろ	2
	ガステーブル	3

## 4 火災による死傷者

### ■ 火災による死者は 1 人、負傷者は 10 人

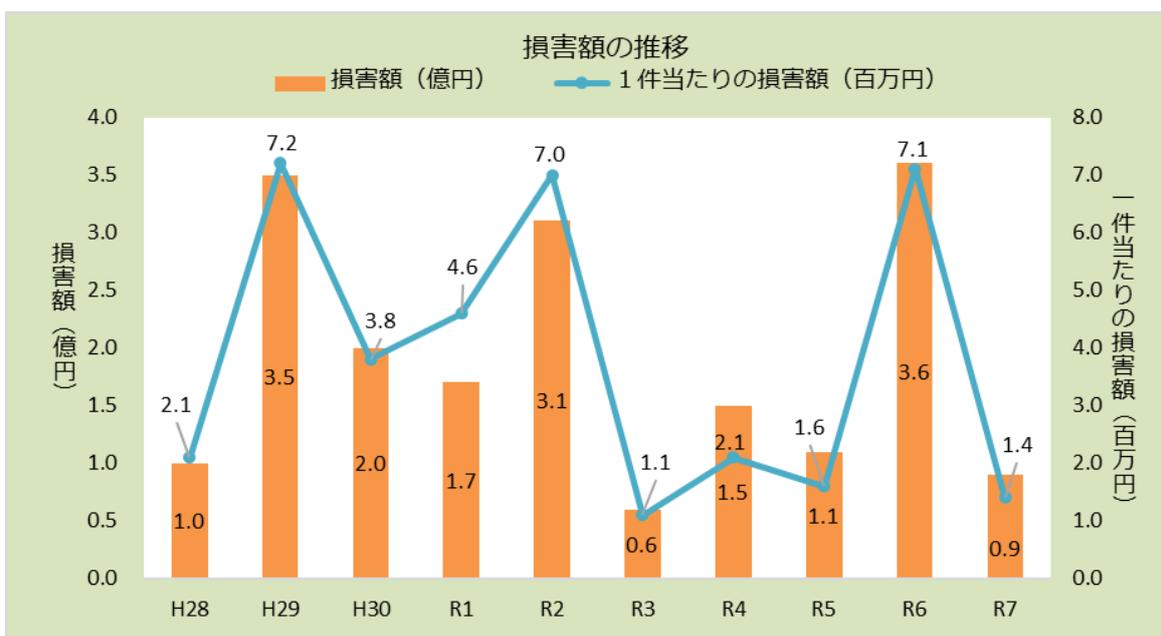
火災による死者は前年比で 1 人減少し、負傷者は 3 人増加しました。



## 5 損害額の推移

### ■ 火災による損害額の推移

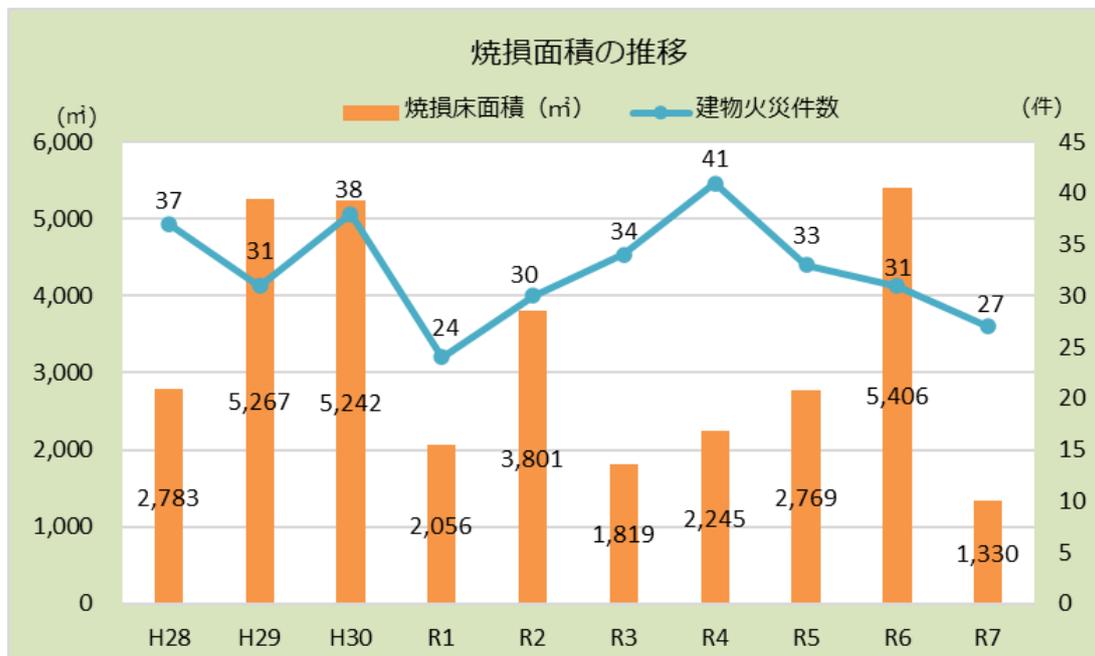
火災損害額は総額で約 8,700 万円、1 件当たり約 140 万円でした。



## 6 焼損面積の推移

### ■ 焼損床面積は 1,330 m<sup>2</sup>

焼損床面積は 1,330 m<sup>2</sup>で、過去 10 年間で最も少なくなりました。



## 7 住宅火災の状況

### ■ 住宅火災の発生状況

住宅火災の件数、焼損棟数及び損害額は、いずれも前年より減少しました。

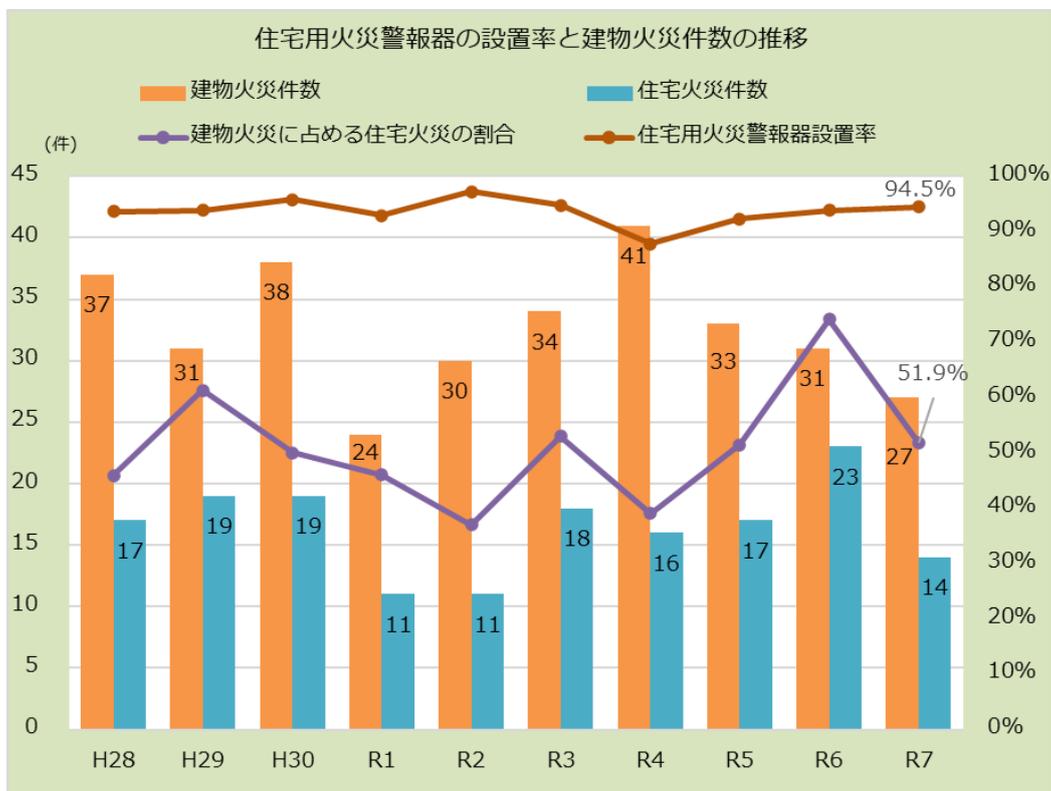
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	過去5年平均
建物火災件数	34	41	33	31	27	33
うち住宅火災※ 1	18	16	17	23	14	18
住宅火災割合	52.9%	39.0%	51.5%	74.2%	51.9%	54%
焼損棟数	56	52	60	70	49	57
うち住宅火災	30	23	34	57	25	34
住宅火災割合	53.6%	44.2%	56.7%	81.4%	51.0%	57%
建物火災損害額 (千円)	62,907	145,571	107,948	273,508	74,492	132,885
うち住宅火災	23,780	53,651	78,619	268,571	29,076	90,739
住宅火災1件当たり	1,321	3,353	4,625	11,677	2,077	5,156
住宅火災死傷者発生率※ 2	3.7	4.2	4.2	3.8	2.4	3.7

※ 1 住宅火災：専用住宅、共同住宅の住戸部分、併用住宅（住居部分の面積が延べ面積の 20%以上のものに限る）の住宅部分から出火した火災

※ 2 住宅火災死傷者発生率：人口 10 万人当たりの住宅火災による死傷者数

## ■ 住宅火災件数の推移

建物火災に占める住宅火災の割合は前年より減少しました。



## 8 住宅用火災警報器

### ■ 住宅用火災警報器の設置率

令和7年6月1日時点における住宅用火災警報器の設置率は94.5%、条例適合率は69.5%でした。

住宅用火災警報器の設置率（令和7年6月1日時点）		
	設置率 ※1	条例適合率 ※2
上越地域消防局	94.5%	69.5%
新潟県	90.4%	73.0%
全国	84.9%	65.8%

※1 設置率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（全ての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上に設置されている世帯の全世帯に占める割合

※2 条例適合率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（全ての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）の全てに設置されている世帯の全世帯に占める割合

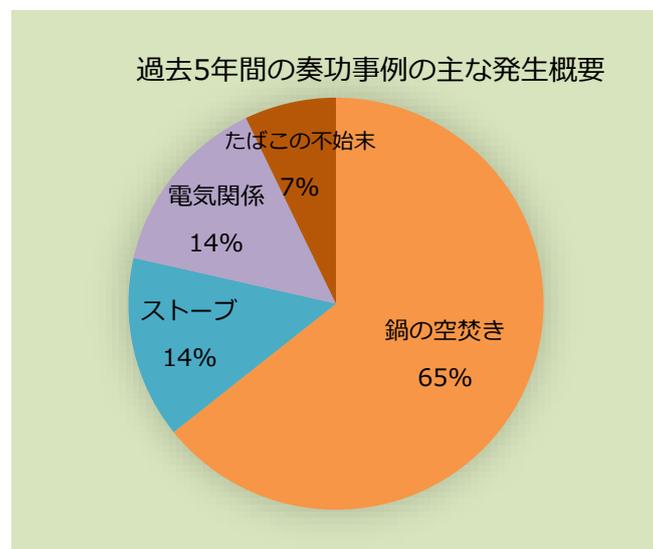
## ■ 住宅用火災警報器の奏功事例

住宅用火災警報器を設置したことによって、火災に至らなかった、又は被害が軽減した火災事例が毎年報告されています。

住宅用火災警報器の奏功事例件数						
	奏功件数	被害程度				
		被害なし	ぼや	部分焼	半焼	全焼
平成28年	4	1	1	2		
平成29年	2	2				
平成30年	4	3	1			
令和元年	3	2				1
令和2年	2					2
令和3年	4	1	1	2		
令和4年	4	2		2		
令和5年	2	2				
令和6年	5	2	3			
令和7年	2	2				
合計	32	17	6	6		3

## ■ 過去5年間の奏功事例発生概要

奏功事例の6割以上は鍋の空焚きで、台所で発生しています。台所への住宅用火災警報器の設置が火災の防止と被害の軽減に効果的です。



※ 出火原因が放火、その他、不明を除く

## 9 火災状況比較

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	過去5年 平均
火災件数	58	70	72	50	63	62.6
建物火災	34	41	33	31	27	33.2
住宅火災	18	16	17	23	14	17.6
住 警 器 設 置 状 況						
設置あり (一部設置含む)	12	11	11	17	8	11.8
設置なし	5	4	2	2	4	3.4
不明	1	1	3	3	2	2.0
林野火災	1	2	4	1	1	1.8
車両火災	10	7	8	4	6	7.0
船舶火災						0.0
その他の火災	13	20	27	14	29	20.6
焼損棟数	56	52	60	70	49	57.4
り災世帯	29	24	28	47	27	31.0
り災人員	65	63	58	91	60	67.4
建物焼損床面積 (㎡)	1,819	2,245	2,769	5,406	1,330	2,713.8
建物焼損表面積 (㎡)	120	88	317	472	174	234.2
林野焼損面積 (a)	51	1	62	14	159	57.4
損害額 (千円)	64,802	149,852	113,391	356,616	86,609	154,254
死者合計 (人)	2	2	4	2	1	2.2
(うち放火自殺者数)	(1)	(1)			(1)	0.6
建物火災	2	2	4	2		2.0
林野火災						0.0
車両火災					1	0.2
船舶火災						0.0
その他の火災						0.0
負傷者合計 (人)	11	13	9	7	10	10.0
建物火災	8	10	6	6	7	7.4
林野火災						0.0
車両火災	1				1	0.4
船舶火災						0.0
その他の火災	2	3	3	1	2	2.2

## 10 管内地域別署所別火災状況比較

地域	区分	火災件数		焼損棟数		り災世帯数		死傷者数(死者数)		建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )		損害額(千円)		出火率※	
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
合計		50	63	70	49	47	27	9(2)	11(1)	5,406	1,330	356,616	86,609	2.4	3.0
上越市	合併前上越市	26	27	50	25	37	17	8(2)	5(1)	5,103	559	345,783	53,481	2.1	2.2
	安塚区	1	2											5.5	11.5
	浦川原区	4	2	4	1	1				137		2,203	8	14.4	7.4
	大島区	2		2		2				4		127		16.7	0.0
	牧区													0.0	0.0
	柿崎区	3	4	3	2	1	1	1	1	10		633	9,414	3.6	4.9
	大潟区		4		3								159	0.0	4.6
	頸城区	3	3	3	1	1						2,419	7,467	3.3	3.4
	吉川区		1		3		2		1		199		3,138	0.0	3.1
	中郷区	2		1								1		6.4	0.0
	板倉区	2	2											3.4	3.5
	清里区		2		5				1		417		3,584	0.0	8.8
	三和区	1	3	1	2		2				41	248	358	2.0	6.3
	名立区		1											0.0	4.8
	小計		44	51	64	42	42	22	9(2)	8(1)	5,254	1,216	351,414	77,609	2.4
妙高市	新井地域	4	8	5	5	4	4		2	152	114	5,138	3,234	1.8	3.6
	妙高高原地域	1		1		1						4		2.5	0.0
	妙高地域	1	4		2		1		1			60	5,766	3.2	13.1
	小計		6	12	6	7	5	5		3	152	114	5,202	9,000	2.0
上越消防署		16	18	11	8	10	6	3	3(1)	48	1	86,481	21,449		
上越南消防署		13	11	42	18	28	11	5(2)	2	5,055	558	261,721	39,499		
新井消防署		8	10	6	5	4	4		2	152	114	5,139	3,234		
頸北消防署		3	9	3	8	1	3	1	2	10	199	633	12,711		
頸南消防署		2	4	1	2	1	1		1			64	5,766		
東頸消防署		7	4	6	1	3				141		2,330	8		
名立分遣所			1												
高士分遣所		1	6	1	7		2		1		458	248	3,942		

※ 出火率：人口1万人当たりの火災件数

## 救急編

### 1 救急出場状況

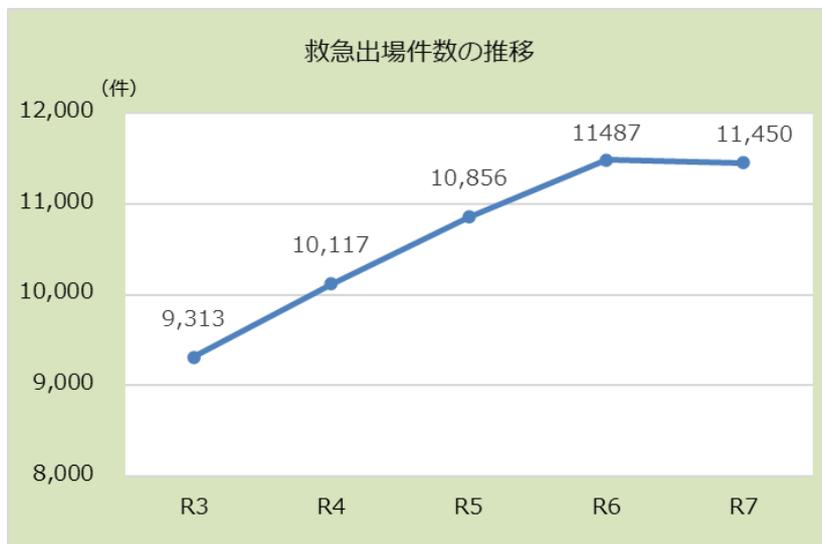
#### ■ 救急出場件数は 11,450 件

令和7年の救急出場件数は11,450件で、前年に比べ37件減少しました。1日平均31.4件、約45.9分に1回の割合で救急車が出場したことになります。

事故種別救急出場件数			
	令和6年	令和7年	増減
急病	7,317	7,424	107
一般負傷	1,804	1,731	▲ 73
交通事故	504	455	▲ 49
労働災害	143	161	18
運動競技	85	86	1
自損行為	101	101	0
加害	19	18	▲ 1
火災	45	42	▲ 3
自然災害	11	2	▲ 9
水難事故	13	11	▲ 2
その他	88	74	▲ 14
転院搬送	1,357	1,345	▲ 12
合計	11,487	11,450	▲ 37

#### ■ 過去5年間の推移

令和7年は、過去最多出場件数を更新した令和6年から37件減少しましたが、11,000件を超えた状況が続いています。



■ 管内地域別署所別救急出場状況

令和7年の市町村別救急出場件数は、上越市が9,722件、妙高市が1,724件でした。

救急事故種別件数														
	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
合計	11,450	42	2	11	455	161	86	1,731	18	101	7,424	1,345	74	
上越市	合併前上越市	6,679	15		7	283	78	36	947	12	63	4,396	787	55
	安塚区	150	2			2	6	1	23			89	27	
	浦川原区	157				4	4		34		4	87	22	2
	大島区	85				4			12		1	42	24	2
	牧区	131				2	1	1	18			70	39	
	柿崎区	471	4		1	19	5	3	67		2	299	71	
	大潟区	455	3			21	9	6	56		1	303	54	2
	頸城区	427	2			19	12	1	49		3	325	12	4
	吉川区	201	1			3	2	2	27		3	146	16	1
	中郷区	173				10	7		34	1	1	118	2	
	板倉区	279	1			12	4	3	33	1	1	187	35	2
	清里区	100	1				2	3	10			62	22	
	三和区	245	2			3	3	2	42	1	2	151	39	
	名立区	169	1	1	1	5	3		38		4	106	10	
小計	9,722	32	1	9	387	136	58	1,390	15	85	6,381	1,160	68	
妙高市	新井地域	1,181	6		1	46	12	18	187	3	11	769	124	4
	妙高高原地域	340		1		12	8	4	114		2	148	49	2
	妙高地域	203	4		1	9	5	6	39		3	124	12	
	小計	1,724	10	1	2	67	25	28	340	3	16	1,041	185	6
他市町村	4				1			1			2			
上越消防署	3,667	15		4	166	56	17	483	10	36	2,432	419	29	
上越南消防署	3,132	10		2	117	35	21	459	2	27	2,018	414	27	
新井消防署	1,711	9		2	77	23	20	269	5	13	1,110	176	7	
頸北消防署	956	2		1	31	12	10	133		4	675	84	4	
頸南消防署	533	2	1		22	12	10	141		4	281	58	2	
東頸消防署	478				15	9	2	84		7	292	68	1	
名立分遣所	228		1	2	12	5		49		5	144	10		
高士分遣所	745	4			15	9	6	113	1	5	472	116	4	
合計	11,450	42	2	11	455	161	86	1,731	18	101	7,424	1,345	74	

## 2 救急搬送人員

### ■ 救急搬送人員は 10,799 人

救急搬送人員は 10,799 人で、高齢者の搬送が7割を占めています。

救急搬送人員								
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	高齢者の割合	合計	割合
合併前上越市	19	187	215	1,581	4,301	68.2%	6,303	58.3%
安塚区		2	4	16	123	84.8%	145	1.3%
浦川原区			1	22	123	84.2%	146	1.4%
大島区		1	1	6	74	90.2%	82	0.8%
牧区			1	9	113	91.9%	123	1.1%
柿崎区		7	5	73	353	80.6%	438	4.1%
大潟区	2	9	10	102	297	70.7%	420	3.9%
頸城区		11	7	95	292	72.1%	405	3.8%
吉川区		1	3	37	145	78.0%	186	1.7%
中郷区		2	4	44	118	70.2%	168	1.6%
板倉区		1	8	49	209	78.3%	267	2.5%
清里区	1	1	2	11	81	84.4%	96	0.9%
三和区		4	4	34	192	82.1%	234	2.2%
名立区			3	28	124	80.0%	155	1.4%
新井地域	1	23	35	254	813	72.2%	1,126	10.4%
妙高高原地域		5	22	110	179	56.6%	316	2.9%
妙高地域		2	14	49	121	65.1%	186	1.7%
他市町村				1	2	66.7%	3	0.0%
合計	23	256	339	2,521	7,660	70.9%	10,799	100.0%

※ 年齢区分

新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上から満7歳未満

少年：満7歳以上から満18歳未満

成人：満18歳以上から満65歳未満

高齢者：満65歳以上

## ■ 過去5年間の推移

傷病程度の中で軽症の割合が最も多く、過去5年同様の傾向が続いています。

傷病程度※別救急搬送人員の推移					
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
軽 症	3,868	4,512	4,969	5,158	5,097
中 等 症	3,824	3,933	3,980	4,497	4,526
重 症	1,015	984	1,026	934	932
死 亡	215	258	202	247	244
合 計	8,922	9,687	10,177	10,836	10,799

※ 傷病程度

軽 症：入院を要しないもの

中等症：21日未満の入院を要するもの

重 症：21日以上入院を要するもの

死 亡：初診時死亡が確認されたもの

## 3 救急活動平均所要時間

### ■ 現場到着時間は平均 10.1 分、病院到着時間は平均 39.0 分

現場到着所要時間※<sup>1</sup>は平均 10.1 分、病院到着所要時間※<sup>2</sup>は平均 39.0 分でした。

事故種別	所要時間		現場到着 (分)		病院到着 (分)	
	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年	令和7年
急 病	10	10	38.3	38.2		
交 通 事 故	10.9	11.3	42.7	42.2		
一 般 負 傷	10.5	10.6	41.8	42.2		
上 記 以 外	9.3	9.5	38.4	37.6		
平 均	10.1	10.1	39.0	39.0		

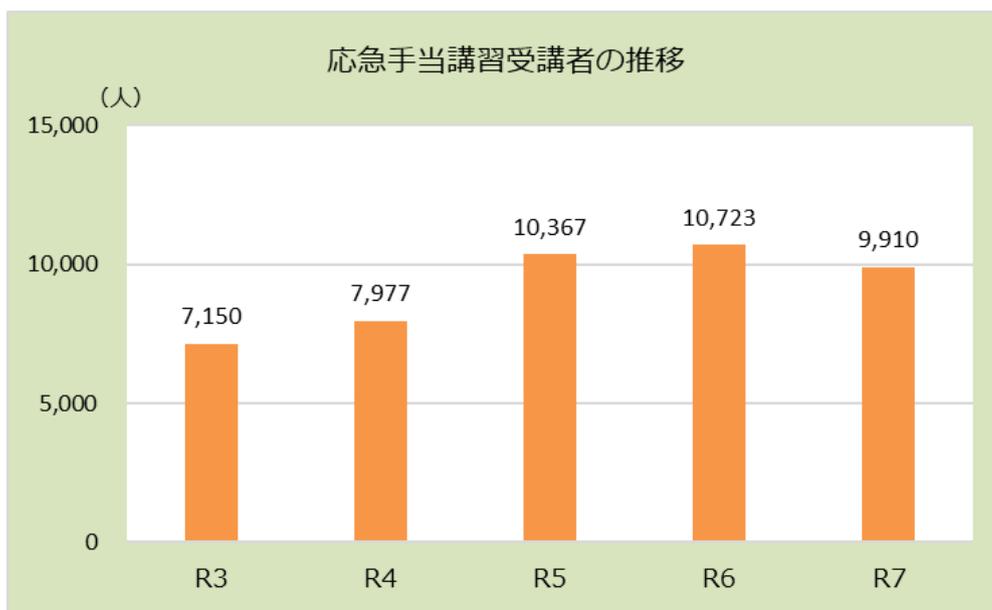
※1 現場到着所要時間：覚知から現場到着までの所要時間

※2 病院到着所要時間：覚知から病院到着までの所要時間

## 4 応急手当実施状況

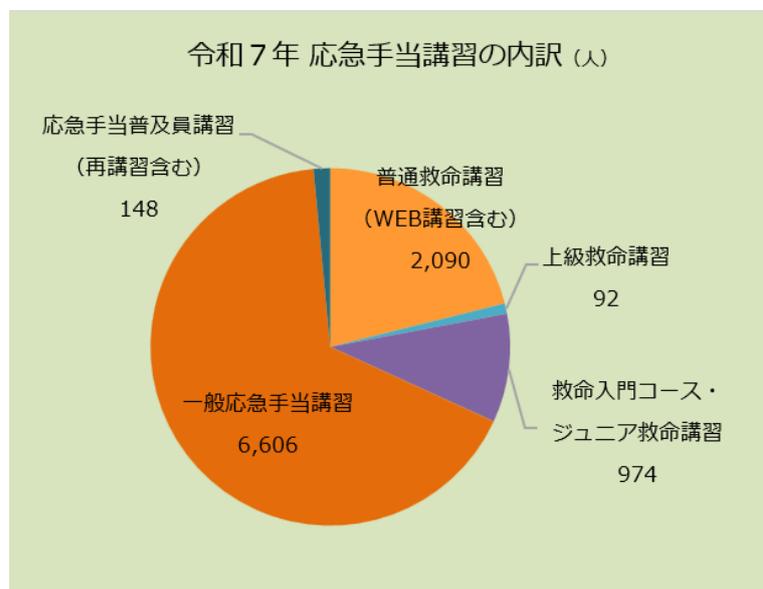
### ■ 応急手当講習受講者の推移

新型コロナウイルス感染症の流行以降、講習会の受講者は年々増加していましたが、令和7年は前年より813人減少しました。



### ■ 応急手当講習の内訳

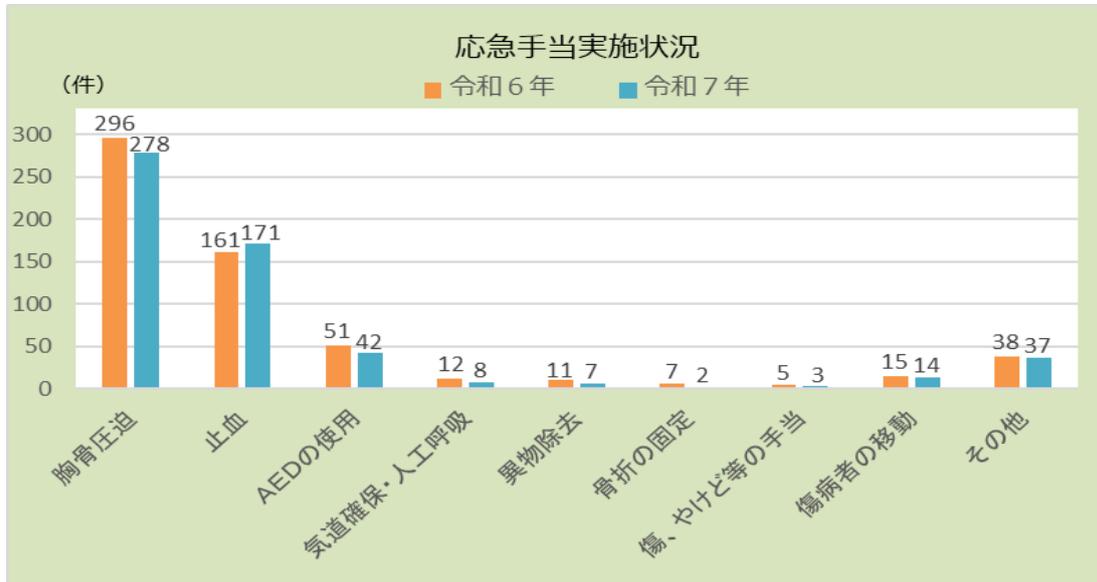
応急手当のできるバイスタンダー<sup>※</sup>の育成を目的とした一般応急手当講習を実施するとともに、普通・上級救命講習や応急手当普及員講習を行い、より質の高い応急手当ができるバイスタンダーの育成を行いました。



※ バイスタンダー：救急現場に居合わせた人

## ■ 応急手当実施状況

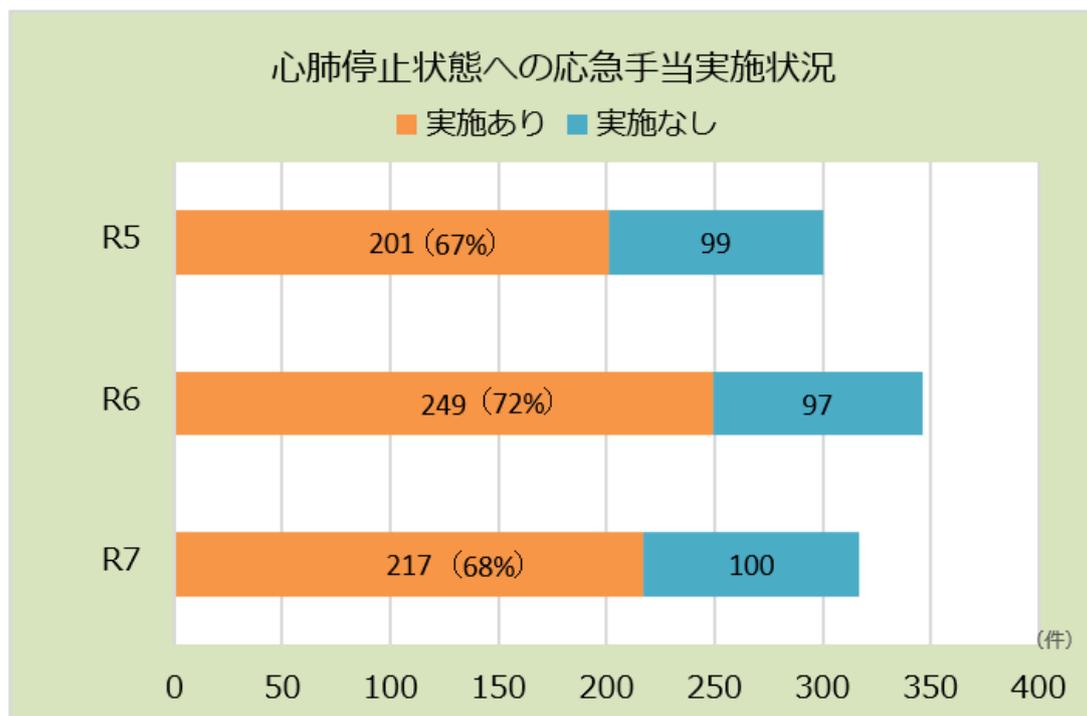
バイスタンダーによる応急手当の中で、胸骨圧迫が最も多く実施されていました。



※ 応急手当実施件数は、現場到着時に救急隊が実施を確認できた件数

## ■ 心肺停止状態の傷病者への応急手当実施状況

バイスタンダーが心肺停止状態の傷病者に胸骨圧迫やAED等の応急手当を実施していた割合は、各年で7割程度となっています。



## 救助編

### 1 救助出場状況

#### ■ 救助出場件数は81件

令和7年の救助出場件数は81件で、前年から7件の減少となりました。

交通事故が最も多く、登山者や山菜採り等の「その他事故」が前年より増加しました。

救助出場件数						
事故種別	出場件数			活動件数		
	令和6年	令和7年	増減	令和6年	令和7年	増減
火災	2		▲2	2		▲2
交通事故	28	29	1	14	16	2
水難事故	13	10	▲3	5	6	1
自然災害	1	1		1		▲1
機械事故	5	4	▲1	2	3	1
建物等事故	15	11	▲4	15	11	▲4
ガス酸欠事故						
破裂事故						
その他事故	24	26	2	21	24	3
合計	88	81	▲7	60	60	

## 2 地域別救助出場状況

地域別救助出場件数											
		救助事故種別						出場件数		増減	
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	その他事故	令和7年		令和6年
上越市	合併前上越市		16	7		3	10	5	41	43	▲2
	安塚区									1	▲1
	浦川原区									2	▲2
	大島区							1	1	1	
	牧区									1	▲1
	柿崎区		1					2	3	4	▲1
	大湊区		1						1	3	▲2
	頸城区		2					1	3	3	
	吉川区		1					2	3		3
	中郷区							1	1	2	▲1
	板倉区		2					1	3	3	
	清里区							1	1		1
	三和区		1						1	1	
	名立区			1				3	4	3	1
	小計		24	8		3	10	17	62	67	▲5
妙高市	新井地域		3	1		1			5	8	▲3
	妙高高原地域		1		1		1	3	6	5	1
	妙高地域		1	1				5	7	8	▲1
	小計		5	2	1	1	1	8	18	21	▲3
他市町村								1	1		1
合計	令和7年		29	10	1	4	11	26	81	88	▲7
	令和6年	2	28	13	1	5	15	24	88		
増減		▲2	1	▲3		▲1	▲4	2	▲7		

## 通信編

### 1 1 1 9 番受付状況

#### ■ 119番通報は16,403件

令和7年の119番通報受付件数は16,403件で、前年比で163件減少しました。

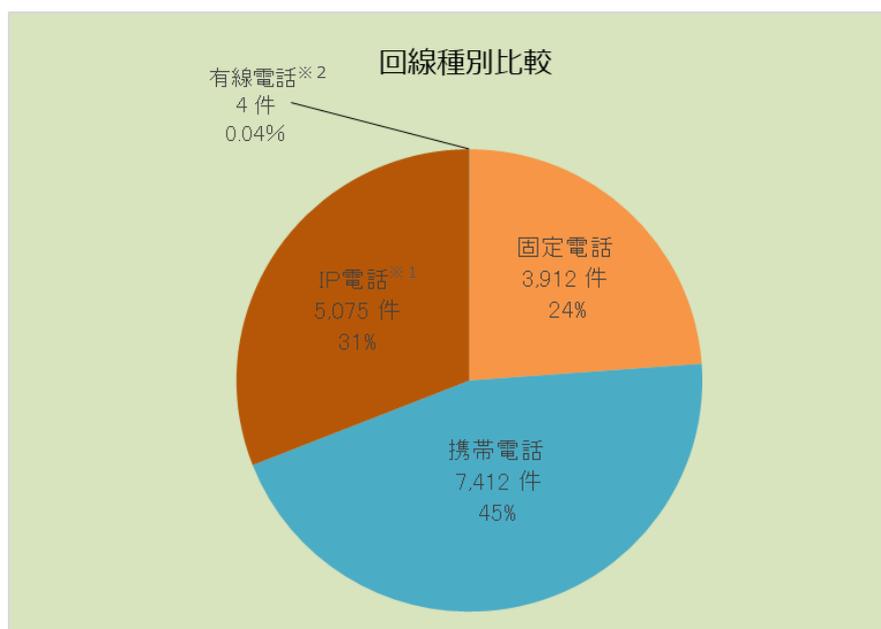
1日平均で約44.9件、約32分に1件の割合で119番通報を受け付けたこととなります。

通報種別件数					
	令和6年	割合	令和7年	割合	増減
火 災	109	0.7%	98	0.6%	▲ 11
救 急	10,569	63.8%	10,473	63.8%	▲ 96
救 助	43	0.3%	31	0.2%	▲ 12
警 戒	106	0.6%	98	0.6%	▲ 8
通報訓練※1	4,096	24.7%	4,287	26.1%	191
まちがい※2	970	5.9%	752	4.6%	▲ 218
問 合 せ※3	673	4.1%	664	4.0%	▲ 9
合 計	16,566	100%	16,403	100%	▲ 163

※1 通報訓練：「試験」を含む

※2 まちがい：「いたずら」を含む

※3 問合せ：「病院照会」、「クレーム」、「転送切断」、「119網切断」等を含む



※1 IP電話：インターネットプロトコルを利用した電話サービス

※2 有線電話：新井有線

## 2 口頭指導実施状況

### ■ 口頭指導件数は 829 件

119番通報受信時、通報者に対して傷病者の状態に応じて指導した応急手当の件数です。

	令和6年	令和7年	増減
心肺蘇生	4	6	2
胸骨圧迫	384	399	15
異物除去	5	6	1
止血	356	351	▲5
熱傷	3	2	▲1
指趾切断		2	2
その他	31	63	32
合計	783	829	46

## 3 外国語通訳状況

### ■ 三者間同時通訳の利用は 24 件

外国人からの119番通報時や救急現場等で利用した件数です。

	令和6年	令和7年
1月	5	2
2月	4	9
3月		
4月		1
5月		1
6月		2
7月	1	1
8月	3	1
9月		1
10月		1
11月	2	1
12月	4	4
合計	19	24

## 4 映像通報119接続状況

### ■ 映像通報119の接続は46件

119番通報時に現場状況を映像で把握するため、接続を実施した件数です。

映像通報119の接続件数		
	令和6年※	令和7年
成功	16	32
失敗	10	14
合計	26	46

※ 令和6年の件数は、映像通報119の運用を開始した令和6年9月9日からの件数

### ■ 接続件数の内訳

#### 成功

	令和6年	令和7年
火災	1	2
救急	7	14
救助	3	12
警戒	1	1
その他	4	3
合計	16	32

#### 失敗

	令和6年	令和7年
URL接続不可	4	1
SMS開封不可	2	3
カメラ使用不可	1	5
スピーカー不可	1	1
その他	2	4
合計	10	14